

令和3年度

みやしろちょうりつかさはらしょうがっこう 宮代町立笠原小学校

稲作・わら細工・紙すき

高学年

稲作体験



自作のわらじをはいて、箱根を大名行列



わら細工



ケナフを栽培して紙すき
卒業証書作り



稲藁を活用したわらじ作り

特色

- 地域の方の指導で、5年生が田植えや稲刈りを実施している。収穫した米は、各家庭で利用してもらうよう配布。脱穀後の稲藁を利用して、正月飾りを作り、家庭で活用してもらう。
- 稲わらは翌年まで保管し、地域の方の指導のもと、6年生がわらじ作りを行う。修学旅行では自分で作ったわらじを履いて、箱根杉並木を大名行列のように歩く体験をする。
- 6年生はケナフを栽培し、収穫したケナフの皮からパルプをつくり、紙すきを体験。すいた紙を卒業証書にする。

児童生徒の感想

- お米ができるまで、たくさんの手間がかかり、多くの人の協力が必要なのがよく分かった。今は機械化が進み、とても楽になった。
- わらじやわら細工は作るのが難しかった。わらじで歩くと、道のごぼごぼが伝わってきて歩きづらく、昔の人の大変さが体験できた。

成果

- 本校では、豊かな自然環境を活かし、地域人材を積極的に活用しながら様々な体験を実施した。農業体験活動を通して、食べ物大切さや働くことの意義を理解するとともに、稲わらを活用し正月飾りやわらじづくりをすることで環境教育につなげることができた。紙すきなどのものづくりを通して、物を大切にする心情を育むことができた。